

## 令和8年砺波市教育委員会第1回定例会議事録

### 1 開会及び閉会に関する事項

開催日時 令和8年1月23日（金） 午後4時00分～午後5時00分

開催場所 砺波市役所 東別館会議室

### 2 教育長及び出席委員の氏名

白江 勉、齋藤 正樹、岩崎 納子、吉澤 めぐみ、大野 祐嗣

### 3 会議に出席した者の氏名

安地 亮（事務局長）、幡谷 優（教育総務課長）、端谷 真奈美（こども課長）、金平 裕（生涯学習・スポーツ課長）、川合 直美（教育センター所長）、北田 邦弘（小学校長会長）、大村 吉永（中学校長会長）、森 明代（保育所・認定こども園代表）、田中 博晃（教育総務課主幹）、水木 靖（教育総務課主幹）、本田 いずみ（教育総務課庶務係主事）

### 4 会議に付した事項

#### （1）前回議事録の承認

#### （2）教育長報告

・事務局について（教育総務課、こども課、生涯学習・スポーツ課）

#### （3）議事

##### ア 議決事項

・議案第1号・・・砺波市立公民館主事の任命について

##### イ 報告事項

・その他・・・教育関係機関所管事項について

（教育センター、小・中学校、保育所・認定こども園）

### 5 会議の要旨

#### 教育長

令和8年砺波市教育委員会第1回定例会を開会いたします。  
砺波市の教育の方針としてとらみ授業スタンダードVができましたのでご紹介します。まず「自立した学習者を育てるために」という3つの重点があり、これは自分で学ぶことができる子供たちを育てるというものです。例えば授業者が変わっても子供たちが関係なく学びを進めていける、昔の授業だと、先生が外れとか保護者の間で話題のあった時代もありますが、そうではなくて、子供たちが育っていれば、極端ですが新採の先生が授業に入ったとしても、子供たち自身が学び方を知っているのだから自ら授業を進めていける、という形を目指しています。今年度、学び方の共有に力を入れてきたのはそのためです。来年度については、一つ目の重点「中核的な概念を明確にした単元構想」ですが、今までも大切にしてきたものの、どちらかというと1時間の授業をしっかりとしようとしてきたところを、10時間のまとまりの中でどのような子供を育てていきたいか、

その中の一番大事な概念は何かという中核的な概念の中で考えていこうとするものです。5年後に新学習指導要領が出ますが、おおよそ同じ方向です。小学校の中では、学ぶ内容が可視化されたものを配り、子供たちは自由時間の中で自由に学んでいくという、単元内自由進度学習に挑戦している教員も出てきました。

二つ目の重点は「自己選択・決定の時間を確保し、学びを楽しむ子供の見取り」としました。子供たちが自分で学習課程をまわしたり、自分たちで学習をしていく、そのためには自分でまず選択して決定する権利が子供たちにある、ということです。昨年もお話しましたが、例えば小学校1年生でも10分間自分で学習をしている実践もありました。それが少しずつ20分、30分と長い時間先生なしで自分たちでも進めていける、そのような時間を確保して増やしていきます。そうしていくと、子供たちは自分の学びなので、楽しくなっている表情が変わっていきます。資料に、学びを楽しむ子供というものが全教員に伝わるよう箱でレビューをつけましたが、まず、今年度重視してきた、各教科の「見方・考え方を働かせる」ということ、教科の大事なポイントがわかるようになると子供たちは楽しめるようになったりします。また、あるいはタブレットや思考ツール等の「ツールを有効活用する」こと、つまり子供たちも素手だったら何もできないけれど、武器となるものが自分の手元や自分の既習経験の中に残っているために自分で学習を進めていけるということです。教師の役割はそのような子供の見取りです。特にできている子は自分たちで進めていきますので、なかなか1歩を踏み出せない子への支援をしっかりと、そこへの見取りを重視していきましょうという意味が二つ目です。

三つ目、生成AIに取り組もうということです。今年度中に教員は生成AIを使うことに色々と挑戦していますし、ガイドラインも作りましたので、これを次年度のスタートで保護者へおたよりを出したり、次年度の4月下旬の最初の授業参観などに校長から説明をしたりもします。生成AIについても1歩踏み出すということです。生成AIについては色々言われているかもしれませんが、今の時代はたくさんの情報が入ってきます。たくさんの情報の中から正しい情報を自分で集め、それを分析してまとめて考えを出すという、そのような子供たち、人間を育てていかないと、これからの時代は生き抜けないため、今までは、教師が持つ少ない情報をもらいそこで考えていく、のではなくて、広い中から情報を持って来るといって、そういったところが大きな転換点になると思っています。

このようなスタンダードを、教育センターを中心に出来上がるまでに校長会や各学校から色々な意見をもらいながら作っており、教育委員会から与えるのではなく、土台は作りながら皆さんから意見を出してもらいできあがった形です。来年度これらを基にしながら先生たちが色々と授業をして協力していくこととなります。

最後に、この資料の中で今、大事にしたい部分が「子供が目にする板書等の情報の精査」です。ご存じのように、今は子供たちが黒板やホワイトボードに自分の考えを書いたりしています。その中には間違った情報もあり、子供たちは黒板に書いてあると正しい情報だと思ってそこで自分のまとめを書くこともあるので、教師は情報が正しいかどうかを確認しながらまとめさせるように、黒板の情報を精査するということが今回特に大事にしていきたいと思っています。ちなみに、ツールの活用についても資料に取り入れました。

このような砺波市の取り組みをしているわけですが、ある県内の自治体からタブレットをあまり使えないため砺波市の取り組みを教えてくださいということ、2月に見学に来られます。他の自治体からも授業を見に行きたいとされています。このように、ある程度リードするではないですが、なかなかタブレットの活用がうまくいっていないところもあるので、スタンダードもHPに出していますし、砺波市としては授業を見に来て下さいと見てもらい、見てもらうことによって我々も更に高めていけるのではないかと思います。

それでは、前回議事録の承認についてお諮りします。

教育長  
教育委員

意義なし。

教育長  
教育総務課長

事務局各課から所管事業について報告を求めます。

<総括的事項について報告・説明>

<教育総務課所管分の事業について報告・説明>

こども課長

<こども課所管分の事業について報告・説明>

生涯学習・スポーツ課長

<生涯学習・スポーツ課所管分の事業について報告・説明>

教育長

質疑はありますか。

齋藤教育長職務代理者

二十歳の式典ですが、良かったと思います。去年、私は都合があり出席できず、去年はどんな様子だったのかと思いながら参加しました。式が始まる前にはスライドショーが楽しみで、その中に民間の協賛広告や市からのお知らせがあったりして、みんな苦労していると思いながら見ました。5分前には話し声が聞こえた会場も、ブザーが鳴るとみんな席に座り、緞帳が上がると水を打ったようにシーンと厳粛な雰囲気保たれて、挨拶をしている人へみんなまっすぐ向いて聞いていたことが印象的でした。発表もとても良かったです。比較するわけでは無いのですが、最初はアニメのコスプレの様な格好の女の子が出てきて、今ではこういうのが流行っているのだと見ていたら、その子が、学生時代打ち込んだこと、保護者にお世話になったこと、今学んでいること、そして振り袖を自分で作ったことを話し、そのとき空気が感心するように流れ、皆さん話しを聞いているなど思いました。また、自分のすぐ前の、実行委員の保護者席に座っているおばあちゃんと思われる人が、盛んに顔を触っておられ、多分感激して涙を流しておられたと思います、本当に嬉しかったので、自分の後ろの方に座っていた知人に聞いたら、とても良かった、涙が出ました、と言っておられました。また、あんな風の人

前で堂々と自分の意見ができるような子になってほしいという言葉もあり、色々な人に色々な思いを抱かせた発表でした。自分の横に座っていた女の子も大きな拍手をしていました。みんなの評判も大変良く、みんなに何かを植え付けた良い発表でした。

生涯学習・スポーツ課長

振り袖を自分で作った女の子は、振り袖と言いながら実際はデニムの特殊な生地で、服飾学校へ行っておられるものですから、そのような生地で作って、最初はどうかと色々悩んでいたけれど、完成してみんなにやっぱり良いねと言われて、良かったということをお話をしていました。発表する文章も前日まで直し、私たちがある程度見て良いのではないかと言ったら当日の朝も少し直して、一生懸命取り組んでいただいたので、私たちとしても大変助かったところでございます。

吉澤教育委員

高校時代は富山商業高校の吹奏楽部で朝4時半に起きてお母さんがお弁当をつくってくれたという話から、親に感謝の気持ちを持っておられたのが印象的でした。私の息子も参加者だったのですが、地区ごとの二十歳の集いが終わって、午後3時頃に迎えに行ったのですが、車に乗って家に向かう途中にお母さん二十歳まで育ててくれてありがとうと言ってもらい、驚きました。感謝の気持ちを言葉にできるイベントは本当に素晴らしいと思いました。みんなしっかり挨拶ができて、挨拶はやはり大事だと思い、それを言葉に出して伝えることはもっと大事だと思いました。私も一人で育てたわけではなく、やはり家族や学校の先生方、地域の方々に育てていただいたという気持ちがあって、私も皆さんに感謝だと思いました。

大野教育委員

こども子育て交流館こどもおーるについてですが、スタートしたばかりで統計等も取れていないかもしれませんが、私には小学生の子供がいるものですから、私の子供はまだ行ったことはないのですが、友達等の中で施設を利用したことがある子はいらぬのか質問を投げかけると、残念ながらこどもおーるに近い出町小学校へ通う私の子供の周りには施設を利用したことがある子はいないという答えでした。利用したことがある子の話を聞くと、未就学児等の子供向けのエリアが多く、今までの児童センターの雰囲気とも違い、小学生の遊ぶところがあまりないということでした。実際に私も見ていないので、この機会にどのような利用状況で、評判はどのような感じなのかというのを、お尋ねしたいと思います。

こども課長

おっしゃるとおり、未就学のお子さんが使う遊具、例えばボルダリングやジャングルジムがありますが、小学生はそこは使わないことになっています。新しい遊具なので、小学生の方はやはり使いたいという気持ちがあるのですが、小学生も未就学も混ざった空間なので、少し危険なところもあるので、小さいお子さんだけ使っていただくように考えて、そのような使い方をしていただいております。小学生の方は、運動スペースの方があるので、そちらでドッジボールやコマ回しをしていただいたり、ボードゲーム等をする場所もあ

るのですが、そのような場所を利用して遊んでいただいている感じ  
です。児童センターと少し違って、自分たちの空間だけではないと  
ころが小学生にとっては少し不満なのかなというところがありま  
す。ただ、未就学児の保護者やお子さんはとても喜んでいただい  
ている印象があります。土日に利用される方が、お子さんと親御さん  
との合計ですが、400名を超えています。先週の土曜日の利用者  
は、600名を超えました。市外の方も3~4割いらっしゃるので、  
たくさんの人に来ていただいています。支援センターを利用された  
親子の方も、遊ぶ場所・遊び道具がたくさんあるので、とても喜ん  
でおられました。児童センターとは全く違った空間なので、そ  
こが小学生にとっては不満に思うところなのかと推察しますが、平  
日であれば、未就学のお子さんもそんなにいらっしゃらないので、  
学校が終わった後は自由に遊んでいただけるのではないかと  
思っております。

齋藤教育長職務代理者

平日の午前中というと、人は来られていますか。

600名も来られるとどのようになるのでしょうか。

こども課長

平日の午前中は、支援センターの利用者の方が使っておられると  
ころと、未就学の親子の方が来ておられます。保育園に行っておられ  
ないような方が来ておられると思います。昨日は雪が酷かったので  
60名ほどでしたが、平日でも利用者は100名を超えています。  
600名の時は、2回ほど人数制限をさせていただきました。中は  
もういっぱいになってしまったので、入り口の方で30分ほどずら  
してまた来て下さいというような声かけをして、イオンの中で買い  
物されるとすぐに時間が経つので、その関係で、あまり苦情を言わ  
れる方はおられませんでした。

教育長

私も5~6回は行っておりますが、出町小学校の子供たちも遊んで  
おりました。児童センターに来ている状態の方は来られていますし、  
北部小学校の子供たちも利用しておりました。人数については、Q  
Rコードの利用者証があり、現在の利用児童数がインターネットで  
確認できますので、混んでいるのかがわかります。指導員にも話を  
聞くと、帰りの親子の表情を見ると、良かったというような表情で  
満足して帰って行かれるようで、先ほど話があったようにボードゲ  
ームが人気だそうです。

こども課長

ボードゲームはたくさん種類があって、親子で座ってゲームをし  
て遊ぶということが楽しいのか、お子さんは家ではなかなかそうい  
うことができないのかなと思うのですが、親御さんもしっかり座っ  
て一緒に遊んでおられるので、それは良いかなと思っております。

教育長

それでは、議事に移ります。

議案第1号の説明を求めます。

生涯学習・スポーツ課長

説明<議案第1号 砺波市立公民館主事の任命について>

教育長

ご質問、ご意見はありますか。

教育委員	議決してよろしいでしょうか。
教育長	異議なし。 議案のとおり議決いたします。 それでは、報告に移ります。 教育関係機関からの報告を求めます。
教育センター所長	<教育センター所管事項について報告・説明>
小学校長会長	<小学校所管事項について報告・説明>
中学校長会長	<中学校所管事項について報告・説明>
保育所・認定こども園長代表	<保育所・認定こども園所管事項について報告・説明>
教育長	ご質問、ご意見はありますか。
齋藤教育長職務代理者	インフルエンザについて学年閉鎖をしたことなどを聞くのですが、 広まっているのでしょうか。
小学校長会長	そんなには広まっていなく、庄南小学校さんと庄西中学校さんが1 月になって休んでおられました、それ以降はそんなに聞かず、実 際はそこまでではないと思っております。
教育長	その他、意見交換に移ります。何かご意見などはありますか。
齋藤教育長職務代理者	昨年・一昨年と苦戦していた海外留学の奨学資金についてはどのよ うになっていますか。
教育総務課長	今年度は2件申請ございまして、予算どおりお支払いしております。
岩崎教育委員	となみ授業スタンダードVについて、自習の時間が好きという子供 が一定数いる感じがしており、何で自習が好きかと言うと、遊べる からとか本読めるからとかではなく、自分でやりたいことを教科書 を読んでできるからと言っていたのを思い出し、きっとそのように 自分でやりたい勉強をする子供たちが増えてきていると思いまし た。
教育長	そのようにすると不登校も減ったという一面も聞きます。例えば外 国人の児童生徒もいたり、それぞれペースが違いますので、自分の ペースで一人一人、益々それを大事にしないといけない時代なので、 先生が前で喋るという授業はもういいですね。だから子供の方から 質問をする、そんな形です。わかりやすく言うと、先生が行って「今 何をしているの、困っていることはある、先生が何か手伝えること ある」と聞く、希望はそのような感じです。昔は、先生が「ここはこ うするのだよ、そうしなさい」と言うことでした。同じ事をして、 自分で決めてしてみるのだと楽しいけれど、やれと言われたら大人 でも嫌ですよ。
齋藤教育長職務代理者	となみ授業スタンダードVについて、例えば、到達したら内容を変 えて新たなことを取り入れて進めていると思うのですが、資料の裏 面「授業の心得」だと、新しく盛り込んだことはあるのですか。
教育センター所長	裏面は基本的にはそんなに大きくは変わっていませんが、例えば「教 師の大切な役割」の「授業全般」にある「無駄な言葉を削ります」 や、「ツールの有効活用」では、表面にツールが出てきたと思うので すが、そのツールは何かということで、今まではタブレットを活用

岩崎教育委員

しますという記載でしたが、そうではなくてタブレットもツールの一つという位置付けで、子供たちが必要であればそのツールを使い学ぶことや、今は思考ツールというものが注目されていて、ベン図等であればみなさん想像がつくと思うのですが、ベン図等を使いながら自分たちで学びを深めていく、みたいなことを取り入れていければと思います。また生成AIもツールの一つで必要があれば活用していく、というイメージで裏面に記載させていただいております。学習の仕方というのを、学校訪問に行くと先生方がしっかり教えていらっちゃって、授業もそれに従って子供たちがどんどん参加していることがわかるのですが、思考ツールというものも先生がやはりこういう風に使うのだよという形で教えていき子供たちが使うという様になっているのですか。

教育センター所長

最初は どう使うのかということ、知識や技能として教えないといけないとは思いますが。そのような使い方ができるということ、子供たちが学び方を分かった上で、学ぶときに私は今この内容を考えたいのでこの思考ツールを使おうかな、というような選択ができる子供たちを目指しています。教えるべきところ、例えば単元の中のどこで教えるのか等は共通理解しておかないといけないと思います。

教育長

授業の中で教える場合もあれば、時間をつくって思考ツールの使い方を教えたりすることで、一度知ると汎用性がありますから、全ての教科でも使えます。要は子供に学びを言語化・可視化して、自分の考えを持ってほしいので、自分の考えを持つためのツールを、自ら好きなものを選択して使って、例えば友達と自らベン図でこうやって比べてみよう、となるようなことを狙っています。

教育長

それでは次回以降の開催日について。

教育総務課長

次回、令和8年第2回定例会を令和8年2月20日（金）午前10時00分から開催いたします。また、令和8年第3回定例会について、令和8年3月27日（金）午後1時30分から開催したいと考えております。いずれも場所はこの東別館会議室で行うことといたします。

教育委員

了承。

教育長

令和8年砺波市教育委員会第1回定例会を閉会いたします。